

根本原因分析研修によるRCA推進の指導的立場となる技術者を育成

1. 目的

新検査制度に係る省令の改正に伴い、根本原因分析(RCA:Root Cause Analysis)が平成19年12月から導入されています。安全上重要な事故・トラブル等の分析にあたり、RCAの円滑かつ実効的な運用を図るようRCA推進の指導的立場となる技術者を育成するため、品質保証研究会(会長:関村直人 東京大学教授)等の協力を得て平成19年度からRCA研修会を実施しており、今年度も、平成22年10月~11月にかけて以下の内容で第6回目の研修会を実施しました。

2. 研修の時期および内容

研修項目	内 容 (研修時間)
講義 (2日間)	<ul style="list-style-type: none">・ ヒューマンファクター概論 (約1.5時間)・ RCA概論(1) (約1.5時間)・ RCA概論(2) (約2時間)・ インタビュー研修 (約2.5時間)・ RCA手法(拡張CREAM法, HINT J HPES, SAFER, ATOP) (約4時間)
事例演習1 (手法毎2日間)	<ul style="list-style-type: none">・ 事例によるRCAの演習 (約14.5時間) 時系列事象関連図作成、背後要因分析
事例演習2 (1.5日間)	<ul style="list-style-type: none">・ 事例によるRCAの演習 (約10.5時間) 背後要因分析、対策案の検討

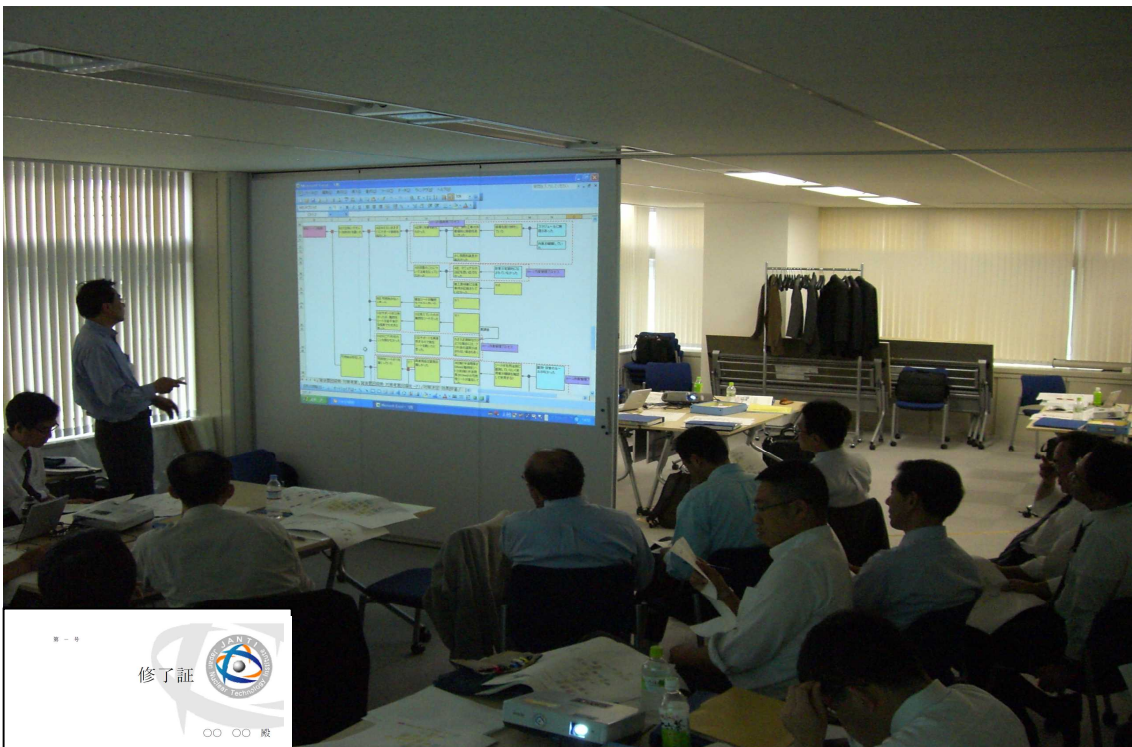
3. 研修の受講状況

これまで、原子力事業者、プラントメーカー(日本原子力技術協会会員)を中心として行った6回の研修会で全研修内容を修めた251名に修了証を授与しました。

以上



研修の様子 1（平成 22 年 10 月 5 日）



研修の様子 2（平成 22 年 10 月 12 日）